

高井潔写真展

日本の民家 福島+茅葺きの家

福島市写真美術館企画展



旧岩澤家
(神奈川県川崎市)

2015年4月10日[金]～20日[月] 福島テルサ4階ギャラリー

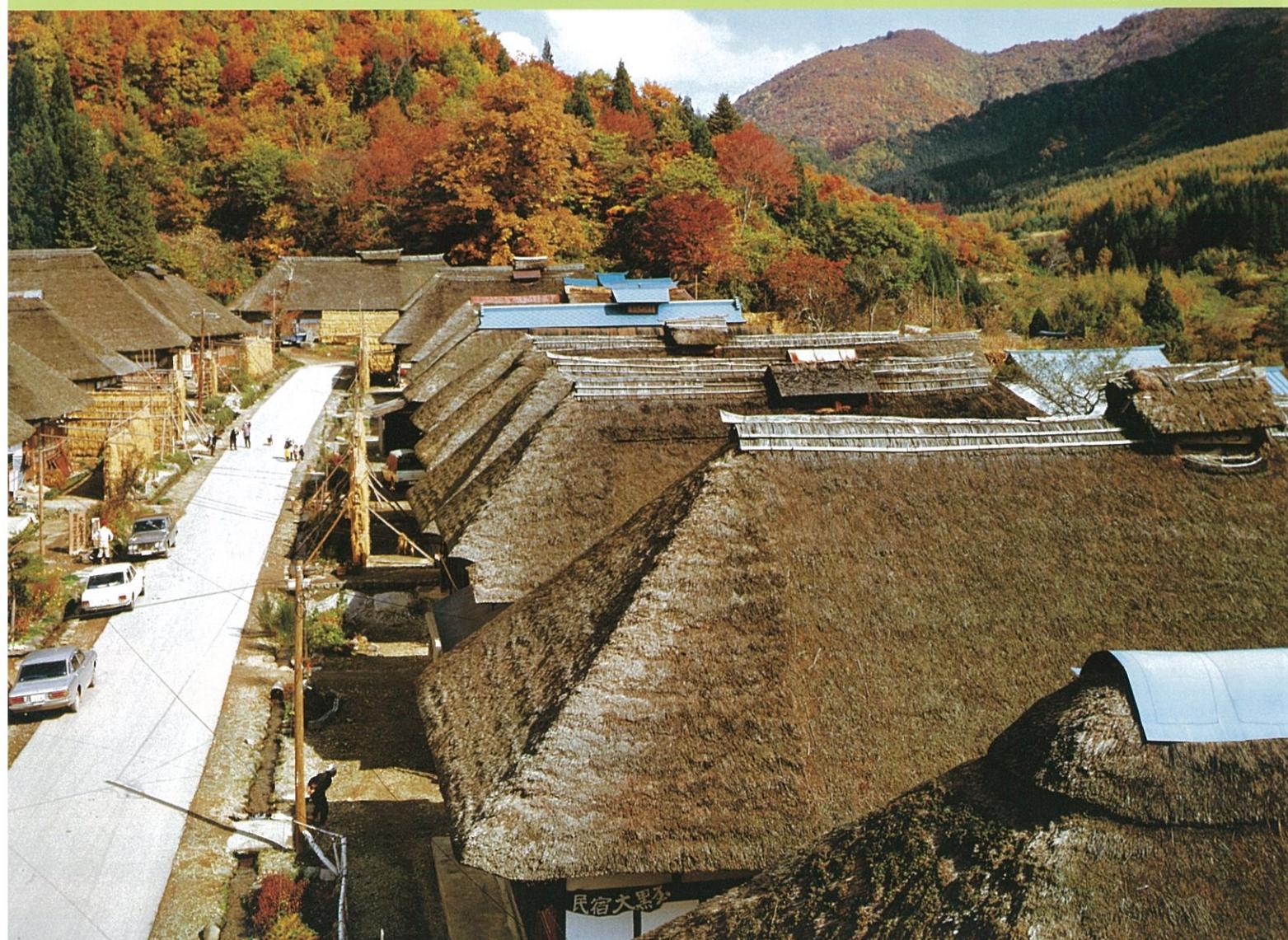
開館時間=10:00～17:00(入館は閉館の30分前まで) 休館日=期間中は無休 入場無料

主催=福島市写真美術館(福島市教育委員会) 共催=公益財団法人福島市振興公社

後援=福島民報社 福島民友新聞社 福島テレビ テレビユー福島 ラジオ福島

高井潔氏によるギャラリートーク 4月11日(土)14:00～15:30

大内宿(福島県南会津郡)



日本の民家 福島+茅葺きの家

「農人の家は、南を受けて、家を北の方に、そして道のある方によせて作るとよい。家のうしろには、樹木を植えるとよい。」

三百年前に書かれた『会津農書』に、農民の住居について、このように書きはじめられています。気候・風土・場所・位置などを考ると言ひて妙です。

家はさまざまな形や構造などによって工夫され、機能性、耐久性を兼ね備えながら、地域ごとに独自に発展を遂げてきました。

江戸時代には、農民の貢租が徳川幕府の財政上の基盤の上に成り立っていたので、その取扱には厳しいものがあり、ために幕藩による郷村支配によって地域共同体が自然発生的に誕生しました。近世農民住居が発展的变化を経て、その形態や機能が完成したものが、木造民家として今に残り、私たちが目にすることが出来る訳であります。



およそ8000年前、日本列島に人が住むようになって造られた家は、ほとんどが大地にお椀を伏せたような草葺き屋根の家であると考えられています。

草屋根は葺くのに手間がかかり、その割には耐久力に乏しく、火災に対しては全く無力であります。それにもかかわらず、永い間広く普及してきたのには幾つかの理由があります。それは材料として比較的軽く、得やすく、作業が容易で、夏は涼しく、冬は暖かい、また雨の多い我が国では雨音がしないなどの住み心地上の利点もありました。それにもまして近代まで現金収入の少ない日本人にとって、現地で容易な材料の調達や、屋根葺きには必ずしも専門の職人を必要とせず、素人ばかりでも、また有り合せの簡単な道具だけでもよく、日本



鳴眞本家（福島市）



堀切家（福島市）

中に古くから存在する労働力の相互扶助作業による「結」という制度によって、餅とか、地酒のいくらかを供するだけで、多くの金銭を必要としない点などが、日本人の生活習慣に馴染み深いものとなり、自らの労働の提供によって、長い間互いに助け合うという制度が保たれたためであります。

しかし屋根は最も人の目につく場所であったために、見栄えよくしたり、雨露をもらさぬためには、細心の注意を要する場所でもありました。これらのための技術が進むにつれて、些細な部分にも、経験と知恵の集大成によって、おのずからいろいろと地方色を生むこととなり、それが個性となって見る人に権力の誇示や地域の情緒をもたらしてくれていました。

そんな茅葺き屋根の下で育んできた、日本人特有の生活空間と文化を生み出してきた造形美をここに集めてみました。

茅葺き屋根の家は、これから先、減ることはあっても決して増えるということはありません。遠い先祖から受け継がれてきた民家に、そんな哀惜の念をもって写したものをまとめてみました。

日本の木造建築の人間味あふれる親しみやすさを感じていただければ幸いです。

高井 潔

高井 潔（たかいきよし）略歴

1938年 東京都生まれ。

1962年 日本大学芸術学部写真学科卒業。大成建設に入社。
大成建設では広報部に勤務、PR、記録用写真撮影を担当。
勤務のかたわら写真家として、ライフワークである日本の古建築を追って、作家活動を続ける。

1988年 大成建設を定年退職。以後今日までフリー写真家として活動。

1989年～2014年 日本大学芸術学部写真学科講師

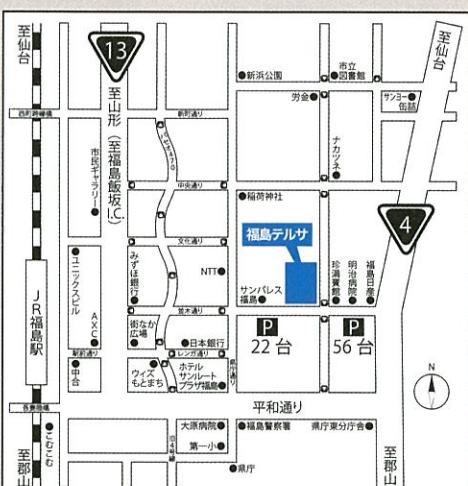
現在 公益社団法人・日本写真家協会会員
公益社団法人・日本写真協会顧問
日本建築写真家協会代表。

受賞
写真集 1974年日本写真協会賞新人賞・1999年日本写真協会賞年度賞
『日本の倉』(淡交社)『KURA』(講談社インターナショナル)
『日本の屋根』(叢文社)『屋根』(淡交社)以上伊藤ていじと共に著
『日本建築写真選集—民家』(新潮社)『民家—MINNA』(河出書房新社)
『岩崎家四代ゆかりの邸宅・庭園』(共著)非売品(三菱広報委員会)
『日本の民家・美と伝統』(東日本篇・西日本篇)(平凡社)
『日本の暖簾—その美とデザイン』(グラフィック社)
『境界—世界を変える日本の空間操作術』隅研吾と共に著など

著書 『日本の民家』(朝日ソノラマ)『建築写真術』(学芸出版社)
『建築写真技法』(韓国語版)『建築撮影技法』(中国語版)
『建築写真の世界』(朝日ソノラマ)『倉』(淡交社)『暖簾』(淡交社)『民家』(上・下)(淡交社)
『北京 古い建ても見て歩き』(ダイヤモンド・ビック社)
『MINNA—民家』英文併記(河出書房新社)
『日本の名景—民家』(光村推古書院)『日本の暖簾』(グラフィック社)など多数
写真展 「日本の民家」「日本の倉」「中国大陆・北京の古建築」「暖簾」「民家の風貌」
「日本の民家—先人に学ぶ」「日本の建築—美と伝統の世界」「民家—MINNA」「茅葺きの家」など



高井 潔氏によるギャラリートーク
4月11日(土)14:00～15:30



【福島テルサ：交通案内】

◆JR福島駅より徒歩10分

◆福島西ICより車で20分 ◆福島飯坂ICより車で15分

〒960-8101 福島市上町4番25号 TEL:024-521-1500